

令和6年度

# 事業報告書

－ 在宅医療・介護連携推進事業 －

－ 在宅医療に関する市民向け相談窓口業務 －

一般社団法人徳島市医師会

徳島市在宅医療支援センター

# 【在宅医療・介護連携推進事業】

## ア 現状分析・課題抽出・施策立案（計画）

### （ア）地域の医療・介護の資源の把握

#### ①徳島市内の医療・介護資源の整理

##### 【取組み内容】

令和6年度現在の徳島市内に現存する医療・介護資源を把握して整理するとともに、月毎の増減推移を調べ、今後の取組みへ反映させる。

##### 【成果や課題等】

徳島市内に現存する医療機関や介護事業所等の数を月毎に整理した。また、令和6年度は新規に増えた事業所等の情報を更新し、研修案内の送付等に役立てることが出来た。

#### ②地域資源情報一覧の運用及び情報更新

##### 【取組み内容】

歯科や薬局、訪問介護等の医療・介護事業所の情報を一覧表にし、ホームページへの掲載や紙媒体による配布を通じて、医療・介護従事者及び地域住民へ正確な情報を提供する。

##### 【成果や課題等】

令和6年度は医療機関をはじめ、歯科診療所、薬局、訪問介護事業所等、13種類の医療介護サービスの情報一覧を更新するとともに、新規に76か所の施設・事業所等を追加した。更新した情報一覧は、地域住民や専門職に対し、センターの窓口やホームページで情報提供を継続した。ホームページ（徳島市地域資源情報一覧ページ）には1612件のアクセス、紙媒体では2015冊配布し、令和5年度に比べ439冊増刷した。また、徳島市医療機関ガイドマップは、冊子の配布及びホームページでの掲載を継続した。

【地域資源情報一覧掲載数】	
歯科医院	122か所
薬局	143か所
居宅介護支援事業所	103か所
訪問看護ステーション	49か所
訪問介護事業所	111か所
通所介護	68か所
地域密着型通所介護	27か所
認知症対応型通所介護	6か所
短期入所生活介護	29か所
短期入所療養介護	24か所
通所リハビリテーション	43か所
小規模多機能型居宅介護	10か所
看護小規模多機能型居宅介護	2か所

【医療機関ガイドマップ掲載数】	
診療所	217か所
病院	45か所



### （イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

#### ①多職種連携会議の開催

##### 【取組み内容】

在宅医療に関わる多職種（医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネジャー等13職種）が一堂に会し、在宅医療を整備する上での課題とその解決策、地域へ還元した取組みの評価等について協議する場として開催する。



##### 【成果や課題等】

各職能団体の「災害への備え」について、災害対策やBCPについて情報交換を行った。またこれらの情報をまとめ、意見交換をした結果、「在宅医療・介護を必要とする方への災害時の啓発」を目的として、地域住民向け冊子やWebの製作を進めることとなった。

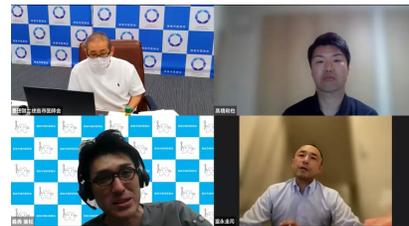
## ②三師会在宅連携委員会の開催

### 【取組み内容】

三師会が取組む在宅医療整備の情報を共有し、各会員ならびに多職種  
の在宅医療に関する資質の向上と標準化を目的として開催する。

### 【成果や課題等】

令和6年度の各団体における事業計画について情報を共有するとともに、第11回多職種のための在宅医療研  
修会の企画について協議。市歯科医師会の推薦によって「口腔ケア機能低下症について」をテーマに徳島大  
学大学院歯薬学研究部教授の松山美和先生に講演を依頼することを決定した。



## ③在宅医療に関する各種アンケート調査の実施

### 【取組み内容】

各専門職や実際に在宅医療と介護を受けている患者及び家族に対してアンケート調査を実施し、医療と介護  
に関する率直な意見を把握することで、今後の取組みに反映させる。

### 【成果や課題等】

令和6年8月に専門職に対するアンケート調査を実施。383名から回答があり、うち69%の人が在宅医療の現  
場で従事している結果となった。多職種が互いに連携の意識を高めあえる場が必要などのニーズがあり、今  
後多職種が交流できる場などが必要であると感じた。

令和7年1月に患者、家族に対するアンケート調査を実施。16名から回答があり、うち87%の人が関係者間  
での連携がよく取れていると回答があり、現在受けている在宅医療やサービスを継続して受けたいなど、好  
意的な意見が多かった。引き続き、定期的にアンケート調査を実施し現状把握に務め、事業の実施に活かし  
ていきたい。

## (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

### ①徳島あんしんタッグの開催

#### 【取組み内容】

徳島市オリジナルの地域包括ケアシステムの構築を目指し、徳島市医  
師会と行政がタッグを組んで在宅医療の整備に取り組むための意見交  
換の場として定期的に開催する。

#### 【成果や課題等】

5月に徳島市医師会館で開催した。徳島市から人事異動についての報告があった後、センターから令和5年  
度事業実績及び令和6年度事業計画案等について報告を行った。また、在宅医療漫画を活用した普及啓発に  
ついて、新たに動画コンテンツの準備を進めていく事について行政に協力を依頼した。



### ②在宅療養支援診療所24時間ネットワークの運用と

#### 連携訪問看護ステーションとの連携

#### 【取組み内容】

在宅医療をシームレスに提供できる体制を継続するため、在宅医師  
同士が副主治医となるネットワークを運用し、医師の負担軽減を  
図るとともに、訪問看護ステーションとの連携により24時間対応可能  
な体制を整備する。また、登録医師と訪問看護ステーションの円滑  
な運用推進を目的に連携会議を開催する。

#### 【成果や課題等】

令和7年4月現在、29か所の医療機関と28か所の訪問看護ステーションが連携している。ネットワーク医師と  
訪問看護師が互いに顔の見える関係を築くとともに、ネットワークに関する率直な意見交換を実施した。令  
和6年度の診療報酬改定のうち、ICTを活用した連携について、当センターが運用するバイタルリンクの  
利用が対象になることについて説明し、利用を促した。



### ③24mini(カンファレンス)の運用

#### 【取組み内容】

在宅療養支援診療所24時間ネットワークの機能強化を目的に小グループ化（3名の医師が参加）でモデル運用し、メーリングリストを通じて情報共有を図る。

#### 【成果や課題等】

令和6年度は3名の医師でネットワークを構成し、週交代で副主治医制を実施した。副主治医としての往診実績は今年度もなかったが、メーリングリストを活用して情報交換を行い、連携としては有効であった。令和7年度以降も体制を継続していく予定である。

### ④在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)の運用と後方支援病院ネットワーク(BBN)との連携

#### 【取組み内容】

在宅医療を希望しつつも在宅主治医が見つからない方に在宅主治医を紹介する在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)を運用。また、TIZI-NET登録医から在宅療養が困難となった、患者の入院要請を円滑に行える後方支援病院ネットワーク(BBN)と連携を図り、より良い在宅医療体制の運用を目的として連携会議を開催する。



#### 【成果や課題等】

令和5年度のネットワーク稼働実績、経過について豊田常任理事から報告。発足当初と比べ、ネットワークを介さずとも円滑な連携体制ができていることについて、関係者間で認識を共有した。今後、病診連携だけでなく、病病連携の体制も充実させられるよう、意見交換などを行ってはどうかと意見があげられた。

### ⑤スクエア会議の開催

#### 【取組み内容】

がん診療連携拠点病院と在宅医療に携わる医師（徳島市医師会在宅医療連携委員）が一同に開始、意見交換を行うことで双方の顔の見える関係づくりと、行政にも参加いただくことで官民一体となった診療連携を構築し、患者やその家族が安心して在宅療養が行える体制整備を行う。



#### 【成果や課題等】

徳島市医師会から徳島市の救急医療の状況についてTIZI-NET登録医への事前アンケート調査をもとに報告した後、各病院から令和5年度の実績について報告があった。情報交換では、ACPへの取組み状況等についてディスカッションを行った。また、バイタルリンクの利用促進に向け、あらためてシステムの概要やICTの活用で算定可能な診療報酬等について説明を行った。

### ⑥在宅医療周辺サポートネットワークの運用

#### 【取組み内容】

在宅医師等からの他科往診依頼に対応すべく、往診可能な専門医でネットワークを構築し、総合的に在宅医療が提供できる体制を構築する。

#### 【成果や課題等】

令和6年度の周辺サポートネットワーク実績は、皮膚科への紹介が2件、耳鼻咽喉科への紹介が1件、合計3件であった。今後、精神科医師によるネットワークの構築について取組んでいく予定。

### ⑦四国四市在宅医療・介護支援センター職員web会議

#### 【取組み内容】

四国四市の在宅医療・介護支援センターの職員同士が、実務者レベルでの顔の見える関係を深め、情報交換や相談を行うことで、今後の事業展開への企画立案や問題解決につなげることを目的に開催する。

#### 【成果や課題等】

四市間では、メーリングリストで取組み状況等について情報交換を行った。事務所視察のため、高知市在宅医療介護支援センター職員が当センターに来訪。職員間で今年度の取組み内容や事業に関する情報交換を行った。

## ⑧ニコイチ会議の開催（地域包括支援センターと在宅医療支援センターの連携会議）

### 【取組み内容】

徳島市地域包括支援センターと徳島市在宅医療支援センターが協働し、医療と介護を一体的に提供できる体制構築を目的に開催する。

### 【成果や課題等】

徳島市医師会の各部門責任者と事業の進捗等について情報を交換するとともに、適宜ミーティングを実施した。

## ⑨在宅医療連携委員会の開催

### 【取組み内容】

在宅医療・介護連携推進事業等において、特に医師に関わる取り組みについて意見交換、情報共有を図るため開催する。

### 【成果や課題等】

令和5年度の事業実績、令和6年度の事業計画案について報告した後、令和6年度診療報酬改定について、ICTを活用することにより算定できる報酬体系について説明。また、在宅医療漫画を動画化し、啓発に活用することについて説明。ACPの啓発については、トクシノートと冊子を同一化して使用していくことなど経過を報告した。



## イ 対応策の実施

### （ア）在宅医療・介護連携に関する相談支援

#### ①医療介護従事者からの相談窓口

### 【取組み内容】

地域の医療・介護関係者から、在宅医療・介護連携に関する相談等を受け、連携調整や情報提供を通じて、多職種間の円滑な連携を支援する。

### 【成果や課題等】

令和6年度は、診療所医師や訪問看護師等の専門職から延べ292件の相談を受けた。診療報酬改定に伴い、バイタルリンクの利用に関する相談が多く、ICT連携に対する関心の高まりがうかがえる。なお、63%が電話での相談だった。

### （イ）地域住民への普及啓発

#### ①在宅医療市民公開講座の開催

### 【取組み内容】

患者や家族・地域住民等が、在宅での療養が必要になったときに必要なサービスを選択していただけるよう、在宅医療や介護への理解を深める機会として開催する。

### 【成果や課題等】

令和7年2月に、公益社団法人教育演劇研究協会「劇団たんぽぽ」（静岡県）による舞台劇「ゆずり葉の季節（はる）」の公演をあわぎんホールで開催した。当日は308名の20～90代の幅広い年代の方が参加された。参加者からはお芝居を通して、在宅医療というものが理解できた。観て良かった。「母を最期看取った時を思い出し感動した。」等の感想が多く寄せられた。



#### ②インターネットでの在宅療養支援診療所及び在宅医療整備の取組み紹介

### 【取組み内容】

年1回在宅療養支援診療所の医療機能・機関情報を更新し、「徳島市医師会在宅医療整備への取組み」ホームページで情報を公開。また、在宅医療・介護連携推進事業の取組みをタイムリーにホームページに掲載し、地域住民等への情報提供、普及啓発を図る。

### 【成果や課題等】

在宅医療支援センターのホームページのTOPページを一部改定した。市民向けにはメニューを見やすく読みやすい表現とし、専門職向けにはバイタルリンクの説明を追加した。また、診療所と病院の一覧にGoogle Mapsを活用して地図表示機能を追加した。



### ③「とくしま市の在宅医療と介護」パンフレットの配布

#### 【取組み内容】

地域住民が在宅医療を選択する際や必要なサービスを適切に選択するための情報ツールの一つとして活用していただくことを目的に適宜配布する。

#### 【成果や課題等】

センターの窓口で配布するとともに、ホームページからダウンロードできるようにしている。また市民公開講座の来場者に配布、市民や専門職からの在宅医療に関する問い合わせの際にも活用している。効果的な情報提供ツールの一つとなっていると考える。



### ④YouTubeを活用した在宅医療に関する動画の配信

#### 【取組み内容】

インターネットからいつでも在宅医療についての動画が視聴できるように、YouTube上で専門職への情報提供や市民への普及啓発に繋げる。



#### 【成果や課題等】

地域住民向けの市民公開講座や専門職向けの各種セミナーの様態を動画にまとめ、動画サイトYouTubeで公開している。令和6年度は、あらたに作成した在宅医療漫画のボイスコミックを公開した。

### ⑤在宅医療啓発漫画を活用した普及啓発

#### 【取組み内容】

絵で見て理解できる在宅医療を題材とした「漫画」をデジタル版と冊子版で地域住民に提供する。幅広い世代の市民に在宅医療を知っていただくツールとして、普及啓発を図る。



#### 【成果や課題等】

令和5年度に製作した在宅医療漫画を地域住民や教育関係者など、様々な関係者に配布した。令和6年度はデジタルコンテンツとしてボイスコミックを製作し、動画サイトYoutubeで公開し、1,000回視聴されている。

## (ウ) 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための

## 研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援

### ①ケアマネタイムの運用

#### 【取組み内容】

ケアマネジャーと医療従事者との連携促進を目的に、診療所・病院・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーションごとに相談可能な時間帯や方法を集約した上で、ホームページ上に掲載し、ケアマネジャー等へ提供する。

#### 【成果や課題等】

ケアマネジャーと医療従事者の連携促進のため、ホームページで情報提供を継続した。現在、医療機関185か所、歯科102か所、薬局134か所、訪問看護ステーション39か所を掲載。また事業所からの掲載情報の変更依頼には随時対応し、情報を更新した。

### ②多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の運用

#### 【取組み内容】

患者情報をタイムリーに共有するため、H28年度より徳島県医師会が導入した「バイタルリンク」を活用し、多職種連携における情報共有ツールの一つとして運用する。

#### 【成果や課題等】

令和6年度は専門職100名、患者42名の新規登録があった。令和7年3月末の時点での利用患者数は49名、利用専門職数は563名となっている。今年度は、6月の診療報酬改定でバイタルリンクの利用があらたな算定要件となったため、専門職の利用申込が昨年度の2.2倍あった。

### ③共通連携「トクシノート」の運用

#### 【取組み内容】

平成27年度在宅医療整備ワーキンググループで作成した共通連携ノートをケアマネジャーや訪問看護師を通じて患者へ配布し、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行えるツールの一つとして運用する。

#### 【成果や課題等】

トクシノートはセンターや市役所各課の窓口を設置するほか、ホームページからダウンロード形式での配布を継続した。また今年度から、ACPの冊子「もしもの時のために」とトクシノートを組み合わせて配布した。



### ④徳島県退院支援の手引きの普及及び徳島保健所との連携した

#### 入退院支援への取組み

#### 【取組み内容】

徳島保健所が中心となって運用中の入退院支援の手引きを様々な場面で広報するとともに、徳島市においてより良い入退院支援の体制が構築できるよう徳島保健所と連携、協力する。

#### 【成果や課題等】

徳島保健所が開催した「令和6年度在宅医療・介護コーディネイト事業に係る医療機関・介護支援専門員連絡会議」に出席。退院支援連絡実施率について、要支援は大幅に減少したが、要介護は過去最高の実施率であったため、全体としては退院支援の制度が現場に定着してきたことや、今後も入院期間の短縮傾向は続くと考えられることから、医療から介護へのスムーズな連携移行が必要と報告があった。

### ⑤キーパーソン3の開催

#### 【取組み内容】

キーパーソン3（医師・訪問看護師・ケアマネジャー）の連携がより密となるよう、症例検討を通してお互いの距離感を掴み、患者を中心に一体となった在宅医療の提供ができることを目的に開催する。



#### 【成果や課題等】

「認知症患者の在宅看取り」をテーマとして開催した。医師、訪問看護師、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員の計42名が参加し、「認知症患者の看取り～新型コロナウイルスに感染した症例～」について議論した。

### ⑥三師会主催多職種のための在宅医療研修会の開催

#### 【取組み内容】

三師会員（医師会・歯科医師会・薬剤師会）及び在宅医療に関わる専門職の在宅医療に対する資質の向上と標準化を目的に開催する。

#### 【成果や課題等】

「口腔機能低下症へのアプローチ」をテーマとして徳島大学大学院歯薬学研究部教授の松山美和先生に御講演いただき、医師、歯科医師、薬剤師など90名が参加した。講演内容について、「臨床に活かせる内容だった。」「口内の健康維持の大切さ、維持していく事に必要なことが分かった。」等の声が寄せられた。令和7年度は薬剤師会が担当となる予定。



### ⑦在宅医療よろず勉強会の開催

#### 【取組み内容】

在宅医療制度や診療・介護報酬についての知識を理解することで、適正な在宅医療の提供や、在宅医療に参入する医師の増加を図ることを目的に開催。

#### 【成果や課題等】

「内科系診療所における2024年度診療報酬改定のポイント～在宅医療と生活習慣病管理料について～」を演題として、株式会社ASK梓診療報酬研究所の中林梓先生から講演。医師、薬剤師医療事務など68名が参加した。



## ⑧各種研修会・講演会への参加、来館対応

### 【取組み内容】

在宅医療に関連する研修会・講演会に参加し、知識の習得や取り組みへのヒントを得る。また、来館対応を通じて、関係者と意見交換・情報共有を図り、今後の取組みへの参考とする。

### 【成果や課題等】

県内外の在宅医療・介護コーディネーター事業に関する研修会を中心に参加した。

## 【在宅医療相談推進事業】

### ①地域住民からの在宅医療に関する相談窓口

#### 【取組み内容】

在宅医療に関する市民向け相談窓口を設置し、在宅医療の利用方法等に関する相談から医療機関や地域資源の情報提供、また、必要に応じて適切な機関へ繋ぐ等のワンストップ窓口機能として関係機関と密に連携を図りながら対応する。

#### 【成果や課題等】

地域住民からの在宅医療に関する一般相談に応じるとともに、必要に応じて適切な機関に繋ぐ等、在宅医療に関するワンストップ窓口機能の役割を担う。令和6年度は、地域住民等から110件の相談があった。

